

## はじめに ～〈トビック力〉で差をつけよう～

### ■ 〈トビック力〉って何？

ある日、あなたが電車に乗っていると、外国人の2人連れの話し声が漏れ聞こえてきました。どうやら英語のようで、聞き取れたのはこんな単語だけ。

“... love ... break ... fifteen ...”

「知っている言葉ばかりだけど、何の話だろう？ 失恋の話かな？」と思っていたら、次に聞こえてきた単語は——“... serve ... racket ...”。

テニスを知っている人なら、ここでピンときたことでしょう。単語の並びで、試合のシーンまで思い浮かんだかもしれません（分からない人は調べてみてください）。

スポーツ、ファッション、映画、歴史……日常生活の中で、自分の好きな分野の言葉が断片的に見えたり聞こえたりしただけで興味を引かれ、内容もすいすい頭に入ってきたという経験は誰にでもあるはず。それは、あなたがその分野の〈トビック力〉を持っているからです。ある話題について「ピンとくる」。それが〈トビック力〉です。

### ■ 単語力とは違う？

「それって、単語をたくさん知っているということでは？」——いいえ、違います。

例えば「love とはテニス用語で『0点』のことである」と暗記していても、テニスのことを何も知らなければ、その意味を本当に理解しているとはいえません。

逆に、〈トビック力〉が単語力の不足を補ってくれることもあります。

Oda Nobunaga was assassinated by Akechi Mitsuhide in 1582.

あなたに歴史の〈トビック力〉があれば、上の文の assassinate が「殺す、暗殺する」の意味だと推測できるでしょう。さらに、どちらがどちらを殺したかという関係も、「受動態」という文法を思い浮かべるまでもなく理解できるはずです。

もちろん、英語を使いこなすには単語や文法の正しい知識が必須ですが、表現される内容についての背景知識やイメージも、英語の運用にはとても役立ちます。つまり〈トビック力〉は、単語力・文法力と表裏一体で〈英語力〉を支えてくれる大きな柱といえます。

「でも、トビックは数えきれないほどあるんだから、すべてを学ぶなんて無理！」——確かに、あらゆるトビックを知ろうというのは非現実的です。

しかし、運動神経のいい人は新しいスポーツでも上達が早い。旅慣れた人は知らない土地でも自信を持って歩ける。それと同様に、主要なトビックに多く触れておけば、初めて触れるトビックの理解にも勤が働く、いわば〈応用的なトビック力〉が養われるのです。

## ■ どんな役に立つ？

本書の目的は、簡単にいえば「入試に出てくる話題を幅広く知っておこう」ということです。では、それがどんな役に立つのでしょうか。

### 1. 英文を読むスピードがアップ！

最近の入試英語はますます長文化しており、じっくり読んでいる余裕はなかなかありません。でも、トピックになじみがあれば、分からない単語や表現などの細部は推測で補い、要点を押さえながら長い文章をどんどん読み進むことができます。

### 2. 内容理解の精度がアップ！

細部でつまづくことなく要点が捉えられれば、「直訳はできるけど全体の意味が分からない」といったことも減ります。また内容一致問題では、トピックの「常識」から選択肢を絞れる場合もありますから、実践的な得点力にもつながります。

### 3. リスニングやライティング・スピーキングの力もアップ！

最初に挙げた例からも分かるように、言葉を耳で聞くリスニングでも〈トピック力〉は大きな助けになります。また、社会問題などについて問われることの多いライティングやスピーキングのテストでは、むしろ不可欠な基礎力です。そもそも、なじみのないトピックなんて日本語でも理解しにくいし、うまく話せないでしょう？

## ■ どうやって身につける？

今回の企画に当たっては、過去の大学入試長文や英作文問題を2,000題以上分析し、みなさんにぜひ触れておいてほしいトピックを「標準編」「発展編」それぞれ30ずつ取り上げました。この「発展編」は、国公立大学2次試験や難関私大レベルを想定して編集してあります。そして、それぞれのトピックに習熟できるよう、リーディング・リスニング・ライティングなど多面的なトレーニングを設定しました。

ただし、本書は普通の問題集や参考書と違って、必ずしも前から順番にやる必要はありません。興味のあるトピックから始めるのも大丈夫。なんなら最初はバラバラと日本語だけ拾い読みしてもいいでしょう。無理をせず、自分のペースで、主要なトピックに繰り返し触れることで、〈トピック力〉は自然と身につけていきます。

さらに本書を学び終えたら、次は長文問題集や志望校の過去問などにチャレンジしてください。そうすれば、本書で培った〈トピック力〉が役立つことを実感できるでしょう。単語の丸暗記や機械的な文法トレーニングとは大きな差がつく勉強法で、大学入試だけではなく社会に出てからも強力な武器になる本当の英語力・思考力の基礎を、みなさんが身につけてくださることを心から願っています。

編著者一同

本書では、「発展編」のレベルに配慮しつつ、昔も今も変わらない王道のテーマから最新の話まで、読み応えのある30のトピックを、3つのパート／10のジャンルに分けてバランスよく取り上げました。

3つのパートは「人間」「社会」「自然」です。これらが分かちがたく相互に影響し合い

はじめに … 2      本書の使い方 … 6

### Part 1 人間を深く知る …………… 8

#### 教育・心理

01 大学で何を学ぶか … 10 / 02 手書きの重要性 … 14 / 03 「確証バイアス」とは … 18  
[Output 2] … 22    [PICK UP] … 24

#### 健康・医学

04 「偽薬」の効果 … 26 / 05 脳死 … 30 / 06 肥満と健康 … 34  
[Output 2] … 38    [PICK UP] … 40

#### 思想・人生

07 幸福感の効用 … 42 / 08 クリティカルシンキング … 46 / 09 意思決定の方法 … 50  
[Output 2] … 54    [PICK UP] … 56

#### 言語・コミュニケーション

10 多言語環境 … 58 / 11 言葉は変わる … 62 / 12 スマイルの意味 … 66  
[Output 2] … 70    [PICK UP] … 72

### Part 2 現代社会に生きる …………… 74

#### IT・テクノロジー

13 科学技術の発展と労働 … 76 / 14 自動運転のジレンマ … 80 / 15 テクノロジーの未来 … 84  
[Output 2] … 88    [PICK UP] … 90

#### 社会・経済

16 世界の貧困問題 … 92 / 17 民主主義と選挙権 … 96 / 18 広告の効果 … 100  
[Output 2] … 104    [PICK UP] … 106

#### 文化・歴史

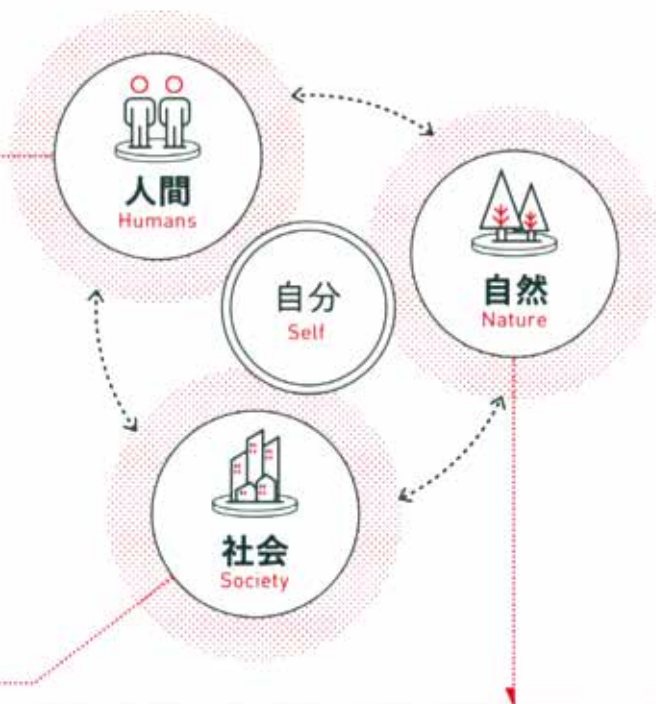
19 時間認識の文化差 … 108 / 20 世界文化遺産 … 112 / 21 書物とデジタル … 116  
[Output 2] … 120    [PICK UP] … 122

#### 国際・グローバル化

22 カワイイ・アニメ・マンガ … 124 / 23 異文化間理解 … 128 / 24 グローバル化の功罪 … 132  
[Output 2] … 136    [PICK UP] … 138

ながら成り立っているのがこの世界。そのただ中で生きている「自分」の立ち位置を常に頭の片隅で意識しつつ、本書の学習を進めてください。

本書の構成は、受験勉強にとどまらず、あなたがこれから長い人生を生きていく際の「思考の枠組み」としても役立つはずです。



## Part 3 自然と向き合う ..... 140

### 環境・エネルギー

25 世界の水危機 … 142 / 26 気候変動 … 146 / 27 生物多様性 … 150

[Output 2] … 154 [PICK UP] … 156

### 生命・科学

28 動物の知能 … 158 / 29 宇宙の生い立ち … 162 / 30 科学の方法 … 166

[Output 2] … 170 [PICK UP] … 172

キーワードレビュー … 174



## TOPIC 02

## 手書きの重要性

大学などではノートパソコンやタブレットで講義ノートを取る学生が増えているという。確かにデジタル機器は「記録に残す」には便利だが、「記憶に残す」ためにはどうだろう。勉強を「やったつもり」になっただけで終わってはいないだろうか。

## Warm-up | キーワードを知ろう

🔊 A 02-1

① 各英文の日本語訳の（ ）にはどんな言葉が入るか、前後関係から考えてみよう。

1. I usually use my **laptop** when I take notes in class.

私は授業でノートを取るとき、たいてい（ ）を使う。

2. To **retain** information, you should write it down by hand.

情報を（ ）ためには、手で書きとめる方がよい。

3. Please **type** your password in the box.

入力欄にあなたのパスワードを（ ）てください。

4. It is difficult to **summarize** this article in a few sentences.

この記事を2～3文で（ ）のは困難です。

5. Handwriting will help with the **comprehension** of the lecture.

手書きすることは、その講義の（ ）に役立つでしょう。

答え

1. laptop = ノートパソコン

2. retain = 記憶にとどめる

3. type = 入力する；タイプする

4. summarize = 要約する

5. comprehension = 理解

② 答えを確認したら音声<sup>①</sup>を3回聞き、3回音読しよう。

② まずは最後まで読んでみよう。大体の意味が分かったら、Qの答えを考えよう。

① As laptops have become common in the classroom, many students  
(教室を)歩いて出る ありふれた are walking out at the end of a lecture with more detailed notes than ever.  
(A) 今までにないほど

② But their use of technology comes at a cost: ③ they don't retain or  
～を使うこと (B) understand as much information as other students do. ④ I'm not talking  
明らか (C) 引き寄せる about the obvious distractions laptops invite, such as email and  
ソーシャルメディア social media. ⑤ It's clear that students who take notes with laptops can  
(D) type almost everything they hear without much effort. ⑥ But that's the  
(E) ～なしに 努力 problem. ⑦ Students who take notes with pen and paper are forced to  
集中する (F) 資料 focus and summarize the material, writing down only what is most  
非常に important. ⑧ Some scientists suggest that this causes the brain to work  
示唆する 原因となる harder, resulting in increased comprehension and the ability to remember  
(G) 増加した (H) more, sometimes even many days later.  
～でさえも

Q1: 4行目 other students とはどういう学生か、日本語で説明しよう。

Q2: 7行目 that's the problem の that は何を指すか、日本語で説明しよう。

Q3: \_\_\_\_ の語句のおおよその意味を前後の文脈から考えて、それぞれ選ぼう。

- |                |             |
|----------------|-------------|
| (A) ア 簡潔な      | イ 詳しい       |
| (B) ア お金がかかる   | イ 損失もある     |
| (C) ア 邪魔になるもの  | イ 便利なもの     |
| (D) ア ～せざるを得ない | イ ～する力がある   |
| (E) ア ～に起因する   | イ ～という結果になる |

## ポイント

- ℓ.2 than ever 「今までのいつよりも；今までにないほど」▶比較の強調。
- ℓ.3 their use of technology 「彼らがテクノロジーを使うこと」  
at a cost: they don't ~ ▶コロンに続けて、前文の具体的な説明が書かれている。この cost は「犠牲；損失」の意味で、at a cost は「犠牲 [損失] を払って」。
- ℓ.5 distractions 「邪魔になるもの；気を散らすもの」▶distract 「(注意を) そらす」
- ℓ.8 take notes with pen and paper ▶take notes with laptops (ℓ.6) との対比に注意。
- ℓ.9 ..., writing down ~ 「…、そして～を書きとめる」▶分詞構文。
- ℓ.11 ..., resulting in ~ 「…、そして～という結果になる」▶分詞構文。

- 【Qの答え】** Q1：ノートパソコンでノートを取らない学生。  
Q2：ノートパソコンでノートを取る学生は聞こえることのほとんどすべてを大した努力なしにタイプできること。  
Q3：(A) イ (B) イ (C) ア (D) ア (E) イ

## Review | 確認しよう

- ① 前ページの文章の日本語訳を読んで、( ) の部分の意味が分かるか、確認しよう。

① ( ) が教室で ( ) ものになったので、講義の終わりには多くの学生が今までにないほど詳しいノートを手にもって教室を出ていくようになっている。②しかし、彼らがテクノロジーを使うことには損失もある。③彼らは他の学生たちほど多くの情報を ( ) わけでも理解するわけでもないのだ。④Eメールやソーシャルメディアのような、ノートパソコンが引き寄せる ( ) 邪魔もののお話をしているのではない。⑤ノートパソコンでノートを取る学生は、聞こえることのほとんどすべてを大した ( ) なしに ( ) ことができるのは明らかだ。⑥しかしそれが問題なのだ。⑦ペンと紙でノートを取る学生は、集中して ( ) を ( )、非常に重要なことだけを書きとめざるを得ない。⑧このことは脳をより働かせる ( )、その結果として、より ( ) が増し [一増加した ( )]、時には何日もたった後でさえも、より多くを覚えている能力が得られるのだと、一部の科学者たちは示唆する。

- ② 次に前ページの英文の音声を3回聞き、3回音読しよう。

⊙ 以下は前のページで見た文章である。音声聞きながら空所を埋めよう。

① As \_\_\_\_\_ in the classroom, many students are walking out at the end of a lecture with more detailed notes than ever. ② But \_\_\_\_\_ comes at a cost: ③ they \_\_\_\_\_ as much information as other students do. ④ I'm not talking about the obvious distractions laptops invite, such as email and social media. ⑤ It's clear that students who take notes with laptops can \_\_\_\_\_ without much effort. ⑥ But that's the problem. ⑦ Students \_\_\_\_\_ are forced to \_\_\_\_\_, writing down only what is most important. ⑧ Some scientists suggest that this causes the brain to work harder, \_\_\_\_\_ and the ability to remember more, sometimes even many days later.

⊙ 次の日本語訳から **Warm-up** の英文を思い出し、声に出しながら書いてみよう。

1. 私は授業でノートを取るとき、たいていノートパソコンを使う。
2. 情報を記憶にとどめるためには、手で書きとめる方がよい。
3. 入力欄にあなたのパスワードを入力してください。
4. この記事を2～3文で要約するのは困難です。
5. 手書きすることは、その講義の理解に役立つでしょう。

**思考力チャレンジ**

⊙ 次の答えを日本語で言ってみよう。英語で言ってみよう。

・手書きの方が便利な場合と、逆に不便な場合の例を、1つずつ考えてみよう。

⊙ Output 2 | 英語で表現しよう (22 ページ)